

さらに楽しく授業実践を続けるために ～発信して理解者・仲間を増やそう～

「学校内に理解者を増やすという課題は、どこも同じだということを感じました・・・」

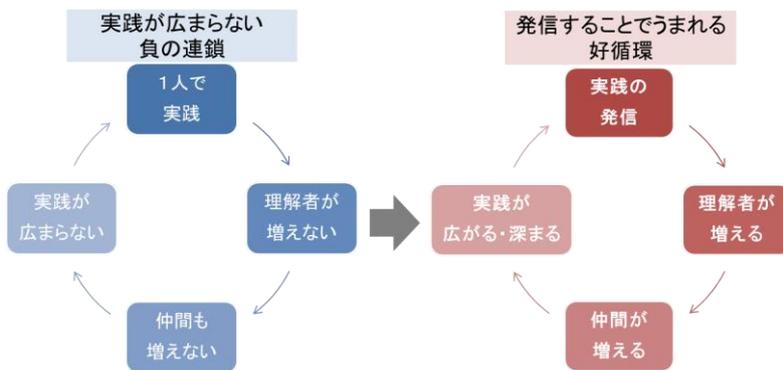
「共感してくれる人を増やし、授業実践を広めることは大切だと改めて思いました・・・」

2019年2月、JICA地球ひろばで開発教育指導者研修が開催されました。他の参加者による開発教育の授業実践事例を知り、「理解者や仲間を増やして実践を広げていこう！」と改めて考えた先生が多いたようです。これまで開発教育を実践してきた先生方による「授業実践発信の意義と工夫」についてお届けします！

研修最後に問いかけた「研修を経て少し変えてみようと思ったことは？」

- これまででは我が道を行くみたい感覚だったけど、身近な人に協力してもらえるように、まずは自分の実践を理解してもらおうことをしていきたい
- これまでではあまり自分の実践をアピールしてこなかったけど、もっとアピールしてみようと思った
- 少しずつ、小さなことから周りに発信してみる
- 先生方や管理職へ働きかけることもしていこうと思った
- 周りの先生方に広める！
- 自分のやっていることをもっと発信し、みんなでやっていく
- これまででは一匹狼だったけど・・・ まずは発信へ！

発信の意義！



研修参加者のことばより事務局で作成

・・・開発教育実践者の中には、孤軍奮闘している先生も少なくないようです。

「開発教育で伝えたいことがあるから実践している。だからこそ、もっと理解者や仲間を増やして他教員にも広めるべきだ！」と考えたようです。「教室での掲示はしてきたけど今後は教室の外に発信！」という声も多くありました。

理解者や仲間を増やし実践を広げるための「発信の工夫」とは？

研修参加者に聞いた 発信の工夫！

教室中ではなく、どの学年の児童も、教員も通る図書館前に学習成果の掲示をしています。授業で使用した資料や写真の掲示と併せて、子どもたちが考えたことを書いた展示を行い、世界の課題について校内に発信しています。活動をクラス内だけでとどめてしまう時期もありましたが、発信するようにしてから少しずつ変化がありました。例えば、他学年の児童が立ち止まって掲示物を読んだり、資料を手にしたりする姿が多く見られるようになり、私のところに質問にくる児童もあられました。質問に来た子どもには、テーマに関連のある話をしているので、その子どもたちにとっても学びになっていると思います。

また、自分のクラスだけでなく、学年で実践に取り組みたかったので、道徳のテーマ決めの学年会で、指導案や教材を見せながら提案してみました。これまでの実践や児童の様子なども紹介したところ共感していただき、単元目標や単元意義などを一緒に考えてもらえるようにもなりました。他の先生の理解を得て、一緒に実践できる仲間ができたのは、自分の活動を発信したことと、指導案を作って共有したことが有効だったと思います。

安藤 薫 教諭(多治見市立共栄小学校)

先日の研修で、「学校内で一人でも理解してくれる人がいればすごい！」という言葉がありましたが、学校でポツンと一人で取り組むのではなく、一人でも理解してくれる人を増やしていくことをイメージして少しずつ発信してきました。

例えば、校内の研究授業として公開授業を行っています。普段は他の先生の授業内容を深く知ることはないのですが、公開授業の後には研究協議があるので、他の先生方と一緒に授業を振り返ることができ、実践内容をよく知ってもらえる良い機会になります。

また、生徒が学習した内容をミニポスターにまとめ他者に発信するという活動もしています。担任の先生方に、授業内容を説明して全員の作品に目を通していただき、生徒たち向けのコメントをもらうなどしているうちに、先生方も授業実践に関心を持ってくださるようになりました。実践に共感していただき私のモチベーションも上がりました！また、思わぬ成果として、文章で提出させると「理解度が低い」と評価されがちな生徒も、絵であれば上手く自分の思いや気づきを表現でき、理解度の高さがわかりました。担任の先生から「この生徒がこんな風に考えるとは、普段とは違う一面を見た」という感想を複数いただき、もの静かな生徒にもスポットライトを当てることができました。

佐藤 亜矢香 教諭(埼玉県立富士見高等学校・公民科)

<次ページへ続く>

安藤先生が図書室前にした掲示



佐藤先生の生徒が作成したミニポスター



タイトル「知ろう、難民！」
メッセージを伝えたい相手…家族



タイトル「明日も生きてい」
メッセージを伝えたい相手…家族



タイトル「日本ならきっと」
メッセージを伝えたい相手…日本人



タイトル「難民を助けよう」
メッセージを伝えたい相手…父